



第3回 国際キエフ音楽祭 2006

2006年4月20～27日

プレスリリース

ベンジャミン・ブリテン・キエフ音楽祭は、ベンジャミン・ブリテンの後援により開会されました。ベンジャミン・ブリテン・ロンドン国際バイオリンコンクールは、大学、ロンドンの高等教育機関、また女王をはじめとしたその支援者や音楽協会に認められ、影響を与えました。最初のキエフフェスティバルの狙いは、この事業の立ち上げだけではなく、ウクライナでベンジャミン・ブリテンコンクールの舞台を将来的にキエフに持ってこれるかどうかを提供することにあります。

そして英国の音楽全体とベンジャミンの作品を販売促進もするが英国が独自に奨励しウクライナ音楽とアーティストを支援して英国とウクライナのための文化的な協力を容易にする。第1回目のテーマが、ウクライナ - 英国を表現することで、そのライトモチーフは、(音楽祭のクライマックスは史上初のベンジャミン・ブリテンの戦争鎮魂歌がウクライナで上演された。)キエフフェスティバルの2回目は、「ウクライナ - ヨーロッパ」でした。

そして、英国とベンジャミン・ブリテン国際バイオリンコンペティションと音楽祭の強い関係を保持する間ウクライナのヨーロッパに対する政治的、生活文化へのより深い統合へ向けていきました。

第1回キエフ音楽祭は、しばしば珍しいレパートリーを持つ著名なウクライナと外国の様々なアーティストを出演させ、キエフとルビフの都市で最も名声の多いコンサートホールで2週間にわたって開催されました。

第2回キエフ音楽祭も期間中2つの名門音楽アカデミーの間で親切でユニークな協力を得ることができました。ギルドホール音楽演劇学校(ロンドン)とウクライナ(キエフ)の国立音楽アカデミーがオペラ上演:ベンジャミン作品「ねじの回転」、コンサートを含んだ芸術的な教育プロジェクトと巨匠のレッスンである。

第3回キエフ音楽祭は、4月の20日から27日までキエフにおいて国立オペラ劇場において国立第1フィルハーモニーの団体と国立音楽アカデミーを音楽祭参加に傾かせ続けて確立させました。

再度の開催は、ウクライナと優秀な国際的アーティスト、コンポーザーによって実行されます。さらに、音楽祭は世界中で祝われるモーツアルトの250回目の記念日に特別な敬意を表します。モーツアルト作品は、アルバン・バーク、ベンジャミン・ブリテン、バレンタイン・シルヴェストロフなどの20、21世紀の作曲家に強い才能へ著しく影響を与えました。

最も重要な課題として、主要な世界家族の一員であるウクライナとなるため、強い側面の開発が国際的な前後関係でユニークなウクライナ文化の上演を通して可能な限り音楽祭を通してヨーロッパの枠組みにウクライナ音楽を置くことです。

音楽祭は、アーラ・アンドレイチェヴァが監督を務めています。芸術的な展望と構成は、Bogodar Kotorovych, Yevhen Stankovych, Dima Tkachenko, Vasyl Vovkunにより実行されています。少将 Tim Toyne Sewell は、ベンジャミン・ブリテン コンペティションの議長であり3年間連続音楽祭の実行会長を務めています。音楽祭は、国立音楽アカデミーに関連した場所に国立オペラ、国立交響楽団協会、国立シンフォニーオーケストラ、キエフフィルハーモニーオーケストラ、室内楽団、キエフ・カメラタ、キエフの独奏家を上演させます。メジャースポンサーは、Gilles Hondius Foundation 社(オランダ)、ISA社(ウクライナ)公式キャリアーは、ウクライナ国際航空です。勝者は、招待者のロシア大使館の関連でチェルノブイリの悲劇から20年周年でタリヴェルチエフ氏(75)によるアニヴェーサリーコンサートとセレモニーが開催。ロシア大使館、芸術の開発を促進する基金とタリヴェルチエフ氏基金及びジョイントのプロジェクトをしています。

キエフ音楽祭は、BUUインターナショナル・ミュージックエージェンシー(ロンドン・キエフ・東京)によって毎年組織されています。

出来事のカレンダー

4月20日-目曜日19:00-ウクライナの国立交響楽団と国立フィルハーモニーの初めてのコンサートはビクトールプロスキナにて行われました。独奏家—ワレリア・クチェレンコは、ブラームスとムソルグスキーで断片的に含んだプログラムで開催されました。

4月21日-金曜日19:00-キエフフィルハーモニックオーケストラのメンバーであるミコラ・チャチュラ、独奏家のディーマ・トカチェンコ(バイオリン)は、モーツアルトのプログラムで行われている国立フィルハーモニーのコンサートを、スコリク、バーグ、およびブリテンで開催されました。

4月21日-金曜日19:15“Camerata time” 科学者の家で (Volodymyr sk a ,45)キエフ・カメラータ室内楽団による国立アンサンブルの最終コンサートが開催、ヴァレリ・マチュヒンが指揮し、独奏家のボグダナ・ピフネンコ(バイオリン)、ボグダナ・ステリマシェンコ(フルト)、ツミトロ・タワネツ(ピアノ)、オレシ・ヤシコ(バイオリンは、アルマシ、パルト、スタンコヴィチが演奏しました。

4月22日-17:30-土曜日-国立音楽学校のマリイホールにおいてスティーヴン・グトマン(英国)は、ベルグ、チペト、シルヴェストロフおよびベズボロチコ、ブラハ、デニセンコ、コワリナスおよびウクライナのフォークソングの内容を断片的に含んだ無料ピアノ演奏会を開催。

4月24日-月曜日-10:00-“Johanna Hondius Prize”、勝者は発表とセレモニーレセプションを開催するようウクライナのオランダ大使館において話しました。

4月24日-月曜日-12:00-国立音楽学校のホイラーホールにおいてマスタークラスのピアニスト:スティーヴン・グトマンの無料演奏会を開催。

4月25日-火曜日-19:00-英国の国立音楽学校の大ホールにおいてモーツアルトの楽曲を含んだプログラムでキエフのアンサンブルと共にボゴダル・コトロヴィチの指揮によるコンサートを開催。ミロスラヴァ・コトロヴィチ(バイオリン)とオレーグ・ベズボロチコ(ピアノ)が参加。

4月26日-水曜日-12:00“Violin Queen of Music”を国立音楽学校ホイラーホールにて入場無料で開催。内容は、マスタークラスの奏者とバイオリンメーカーのフローリアン・レオンハート(ドイツ-英国)による会議が開かれました。

4月27日-木曜日-19:00-招待者のみで"Quo vadis"ロシア大使館の関連でチェルノブイリの悲劇から20年周年でタリヴェルチエフ氏(75)によるアニヴェーサリーコンサートとセレモニーが開催。グラクーアルテモフスキー、モーツァルト、スタンコヴィチ、スヴィリドフおよびタリヴェルチエフのシンフォニー、ブリテンを含むプログラムで開催。独奏者：タラス・バギネツ(オルガン)、アレクサンドル・グレッツ(テノール)、イストワン・マチアス(オルガン)、マクス・リサノフ(ビオラ)、アンドリ・ツチャペツ(ビオラ)、タラス・シトンダ(ベース)のアーティストとミハイル・タリヴェルチエフ財団の開発基金で支援されるキエフ・カメラータ室内楽団による国立フィルハーモニーの最終コンサートは、ヴァレリ・マチュヒンとキエフオペラ劇場で子供のバレエ、聖歌隊をアンゲラ・マスレニコワが指揮しました。

4月20日-日曜日16:30-国立音楽学校(Horodetskogo, 1)のフェスティバルの記者会見が行われる。

問合せ先：38 050 3101204

www.kyivfestival.com.ua

www.buu.org.uk

www.buuartsjapan.com

off. 30,Zankoveckoi 4

01001, Kyiv, Ukraine

tel: 380 44 2021204

fax: 380 44 2791044

info@kyivfestival.com.ua